

布佐地区

「緑があふれ、祭りに人が集う東の玄関口」

- 布佐地区は、江戸時代から利根川の水運で栄えた河岸のまちであり、今でもまち並みにその面影を残すとともに、古くから受け継がれてきた竹内神社の祭礼や郷土芸能などをとおして人々のまとまりが強く、また、境界を接する茨城県利根町や印西市との関係が深い地区です。
- 地区の東部では、東日本大震災に伴う液状化現象などにより、家屋やライフライン等の施設に多くの被害が発生し、現在、復旧・復興に向けた取り組みが進められています。

人のつながりを深めるまちづくり

- 布佐地区は、地区のほぼ全区域で自治会が結成されており、自治会やまちづくり協議会によるコミュニティ活動が展開されています。
- 特に自主防犯活動が活発で、平成16年には平和台自治会館が県内第1号の地域防犯情報センターに指定されました。
- また、竹内神社の祭礼を通じた交流が盛んに行われているほか、フットサル大会の開催など、自治会・まちづくり協議会・地区社会福祉協議会・地元商業者が連携した取り組みが行われています。
- さらに、国際野外美術展などの文化芸術活動が行われるとともに、布佐中学校区では総合型地域スポーツクラブ「布佐健康クラブ」が活動しており、これらを通じた活発な交流が生まれています。
- 今後も、歴史ある祭り・伝統芸能、地域活動や市民活動を通して、人々の活発な交流・コミュニティ活動の輪を広げ、地区の活性化に結び付けていく取り組みを支援していきます。

地区の主な施策展開

■ 市民活動や地域活動を通じた地域住民の交流促進

- まちづくり協議会のコミュニティ活動への支援
- 生涯学習の拠点施設の整備・充実

地区の資源をいかし、にぎわいを生み出すまちづくり

- 地区の北西には、利根川沿いの水田や、湖北地区から布佐地区に流れる布湖排水路があり、南側には手賀沼干拓などによる広大な水田が広がっています。
- また、竹内神社や浅間神社、布佐市民の森などの緑も残されています。
- 布佐地区には、古くからの祭りや伝統芸能が継承されているほか、郷土の偉人といわれる著名な文化人が居住し、地域での文化的活動を行った歴史が残されています。
- また、文化芸術活動として、布佐市民の森や相島芸術文化村などを会場に、国際野外美術展が毎年開催されています。
- 今後も、こうした地区の歴史的・文化的資源を保存・継承していくとともに、市民活動を支援して、にぎわいのある地区づくりを進めていきます。
- また、布佐駅東側の商店街では、空き店舗が見られるため、地区の実態やニーズに即した商業展開の検討を行い、商業機能の強化を図っていきます。

地区の主な施策展開

■歴史的・文化的資源の活用によるにぎわいづくり

- 文化財の保存や活用に関する制度の充実と歴史的・文化的遺産の活用
- 古くから土地に伝わる生活文化や祭礼、慣習などの保存・継承
- 利根川の河川敷やその南側に広がる農地や斜面林など、多様な自然環境の保全と活用

■地区住民のくらしを支える買い物環境の充実

- 空き店舗の有効活用
- 宅配や移動販売など、地区の高齢化に対応した買い物環境づくり

安全で快適なくらしを支えるまちづくり

- JR成田線は、多くの人達に利用されていますが、単線で運行本数も少ないため、輸送力の強化や利便性の向上が望まれています。
- 道路は、成田街道(国道356号)のバイパス機能を有する手賀沼ふれあいライン(根戸新田・布佐下線)や県道千葉竜ヶ崎線の整備が進められていますが、栄橋周辺の朝夕の交通渋滞は深刻な問題になっており、危険箇所の改良と併せ、沿道環境の改善のため適切な対策を講じる必要があります。
- 駅前通りと成田街道(国道356号)を中心とした地区東側の市街地では、一部区域で大雨時に常襲的な浸水被害が発生しており、その対策も大きな課題となっています。
- 東日本大震災では、地盤の液状化などにより、家屋やライフライン、公共施設などに甚大な被害があり、復旧・復興が急務となっています。
- 地区内の小中学校のうち、布佐小学校の体育館については耐震性が確保されていないため、耐震補強工事を実施する必要があります。
- 成田街道(国道356号)沿いの屋敷林が風情ある道路景観を形成しており、布佐平和台地区では、緑地協定により緑豊かなまち並みが形成されています。また、布佐駅の南側地区では地区計画を定め、都市基盤の整備など計画的なまちづくりを進めています。
- 今後も、地区の交通の利便性や住環境を向上させるため、JR成田線の輸送力の強化や利便性の向上、栄橋周辺の混雑緩和を含め県道千葉竜ヶ崎線などの整備促進に向けた働きかけを行っていきます。
- また、安全で安心して生活することができるよう、水害対策や駅南側の区域の整備を進めるとともに、東日本大震災による被害があった東部地区については、復旧・復興に向けて取り組みます。さらに、布佐小学校体育館の耐震化工事を実施します。

地区の主な施策展開

■公共交通の利便性向上と、誰もが快適に移動できる環境づくりの推進

- JR成田線の輸送力の強化と利便性の向上
- 布佐駅前線と駅前広場の整備の検討
- 県道千葉竜ヶ崎線の整備促進
- 栄橋の混雑緩和対策の促進
- 延命寺付近の県道我孫子利根線と成田街道が交差する危険箇所の改良

■安全で快適に生活できる都市基盤整備の推進

- 布佐駅南側地区の都市基盤整備の推進
- 布佐ポンプ場の築造
- 布佐小学校の体育館の耐震化

■東部地区の復旧・復興の推進

- 被災した公共施設の本格復旧
- 被災者の住宅再建支援